DH SYSTEM
大日本塗料株式会社

商品番号　178419

エポオールスマイル

1．塗料名　弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗　A、B

2．規格　鋼道路橋塗装用塗料標準（2014）
JIS K 5551:2008 構造物用さび止めペイント C種 1号・2号

3．特徴
1）弱溶剤形塗料のため、臭気等も少なく塗装作業環境を改善できる。
2）各種旧塗膜への塗重ね適合性にすぐれ、塗替用にも適している。
3）素地調整が動力工具処理でもすぐれた浸透性・付着性・防錆性を発揮し、塗り替え用及びブラスト処理が不可能な場合に適している。
4）無公害特殊防錆顔料の効果により、非常にすぐれた耐食性を発揮する。

4．塗料性状

項目		内容				
容姿		2液性				
荷姿		18 kgｾｯﾄ（主剤：16.2 kg、硬化剤：1.8 kg） 4 kgｾｯﾄ※（主剤：3.6 kg、硬化剤：0.4 kg）				
色相		赤さび色、ｸﾞﾚｰ、ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ、Dﾎﾜｲﾄ				
密度（23℃）	塗料	1.36（グレー）				
	揮発分	0.82				
加熱残分		72%（グレー）				
乾燥時間	温度	5℃	10℃	20℃	30℃	40℃
	指触	3時間	2時間	1時間	40分	20分
	半硬化	18時間	12時間	6時間	4時間	2時間
標準膜厚		60μm				
引火点		ＳＤＳ参照				
発火点		ＳＤＳ参照				
爆発限界（下限~上限）		ＳＤＳ参照				

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。
※ 色相：赤さび色、グレーのみ対応

5．塗装基準

項目		内容			
素地調整*		3種ケレン、4種ケレン			
調合法		主剤：90部、硬化剤：10部（重量比）			
可使時間		5℃	10℃	20℃	30℃
		10時間	8時間	5時間	3時間
温度・湿度制限*		気温：5℃以下、湿度：85%RH以上			
使用シンナー		塗料用シンナー又は塗料用シンナーA			
塗装法	塗装方法*	刷毛・ローラー塗装		エアレス塗装	
	希釈率*	10%以下		20%以下	
	標準使用量*	200g/㎡		240g/㎡	
	目標膜厚*	60μm		60μm	
	ｳｴｯﾄ管理膜厚	125μm		125μm	
エアレス塗装条件		1次圧0.4MPa（4 kg/cm^2）以上、 2次圧12MPa（120 kg/cm^2）以上			
		チップNo.163T-417～619（ｸﾞﾗｺ）又は相当品			
塗装間隔*（20℃）	最小	1日			
	最大	10日			

注）＊は、「鋼道路橋防食便覧　塗装編」による。

6．施工上の注意
(1) 被塗面の油・湿気・じんあい、水分、その他の有害な付着物は完全に除去する。旧塗膜上に固着した粉状異物は研磨にて十分除去する。
(2) 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分攪拌して均一な塗料状態にする。混合比を間違うと十分に塗膜性能を発揮しないばかりか、塗膜が硬化しないことがある。
(3) 主剤と硬化剤を混合した後は、可使時間以内に使い尽くすこと。
(4) 主剤粘度は特に低温時期に高くなる。開缶前に振倒することで流動性が得られ、取り扱いし易くなる。
(5) 規定範囲内で塗り重ねを終えるようにすること。尚、規定以上経過した場合は塗膜表面をサンドペーパー等にて研磨し更に、ウエスにて拭いて調整してから塗装すること。
(6) 希釈には塗料用シンナー又は塗料用シンナーAを使用すること。
(7) 塗装終了後の使用機器は直ちに十分に洗浄する。一度硬化すると再びシンナーでは溶解しなくなる。

7．関連法則

	主剤	硬化剤
危険物表示	指定可燃物	第４類第２石油類
有機溶剤区分	第３種有機溶剤含有物	第３種有機溶剤含有物
有害物質表示	ＳＤＳ参照	ＳＤＳ参照
劇物表示	―	―

ホルムアルデヒド放散等級：Ｆ☆☆☆☆

8．使用上の注意［警告］
(1) 安全情報に関する内容は、ＳＤＳをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。

2026.01

本書類の内容は予告なしに変更を行うことがあります。